イスラームの英雄

第 4 巻

アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ

ウンマの信託者、シャームを開いた人 ― クルアーンと真正なハディースに基づいて



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です ― 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَٰنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 4 巻

アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ

ウンマの信託者、シャームを開いた人 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

۞إِنَّ ٱللَّهَ يَأۡمُرُكُمۡ أَن تُؤَدُّواْ ٱلۡأَمَٰنَٰتِ إِلَىٰٓ أَهۡلِهَا وَإِذَا حَكَمۡتُم بَيۡنَ ٱلنَّاسِ أَن تَحۡكُمُواْ بِٱلۡعَدۡلِۚ إِنَّ ٱللَّهَ نِعِمَّا يَعِظُكُم بِهِۦٓۗ إِنَّ ٱللَّهَ كَانَ سَمِيعَۢا بَصِيرًا ٥٨

「誠にアッラーは，あなたがたが信託されたものを，元の所有者に返還することを命じられる。またあなたがたが人の間を裁く時は，公正に裁くことを命じられる。アッラーがあなたがたに訓戒されることは，何と善美なことよ。誠にアッラーは全てを聴き凡てのことに通暁なされる。」

婦人章 4:58

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

信託されたものをその持ち主に返すよう私たちに命じられたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけ彼が「このウンマの信託者」と呼んだアブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 4 巻は、アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ رضى الله عنه の生涯を語ります。最初期の入信者の一人であり、楽園を約束された十人の一人であり、ハバト遠征隊の指揮官、シャームを開いた総司令官、そしてアムワースの疫病で軍とともに亡くなった質素な総督です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、日の出のときの***シャーム（大シリア）の緑の平原***です。古いオリーブの木々に覆われた丘、朝霧に包まれた川の谷、そして地平線の山々が見えます。アブー・ウバイダはこの地でムスリム軍を率い、ここで亡くなり、葬られました。

大きな岩の上には、いくつかの質素な品が置かれています。***使い古した革の鞘に収めた剣、革の盾、そしてラクダの鞍***です。これは、ウマル・ブン・アル＝ハッターブがシャームの総督アブー・ウバイダの家に入り、剣と盾と鞍のほかに何も見つけなかったという話を思い起こさせます。

これらの品の前には、朝の光に輝く***大きな鉄の鍵***があります。鍵は***信託（アマーナ）***を表しています。アッラーの使徒 ﷺ がアブー・ウバイダを「このウンマの信託者」と呼ばれたのは、この資質のためです（『サヒーフ・ブハーリー』3744）。右側で槍の先にはためく***白い旗***は、シャームの総司令官としての彼の指導を表しています。

下部の***紺色の帯***は、***細い金色の線***に縁取られ、著者名が記される場所です。『イスラームの英雄』の表紙がすべてそろうよう、第 1 巻から第 3 巻までの表紙と同じ形にしています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ — *はじめに*

1. アブー・ウバイダとは誰か — *スィーラと伝記の書*

2. 最初期の入信者の一人 — *『サヒーフ・ムスリム』2528*

3. バドル：信仰の最も厳しい試練 — *抗弁する女章 58:22*

4. ウフド：アッラーの使徒 ﷺ のために失った歯 — *スィーラの伝承*

5. アミーン・アル＝ウンマ：ウンマの信託者 — *『サヒーフ・ブハーリー』3744；婦人章 4:58*

6. ハバト遠征：飢えの中の指導 — *『サヒーフ・ブハーリー』4361*

7. ザート・アッ＝サラースィル：団結のために身を引く — *勝利章 48:29*

8. ナジュラーン：「本当に信頼できる人」 — *『サヒーフ・ブハーリー』4380*

9. 楽園を約束された十人の一人 — *『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747*

10. サキーファ：カリフの候補 — *『サヒーフ・ブハーリー』3668；『サヒーフ・ムスリム』2385*

11. シャームの総司令官 — *歴史の伝承*

12. ダマスカス、ファフル、ヒムス — *歴史の伝承*

13. ヤルムークとエルサレム — *歴史の伝承*

14. 総督の家 — *禁欲の伝承*

15. サルグの疫病：「アッラーの定めからアッラーの定めへ」 — *『サヒーフ・ブハーリー』5729*

16. アムワースの疫病と彼の死 — *雌牛章 2:155–156*

17. アブー・ウバイダの人柄 — *まとめ*

18. アブー・ウバイダの物語の出典 — *表*

19. アブー・ウバイダの物語の人物 — *表*

20. アブー・ウバイダの物語の場所 — *表*

21. アブー・ウバイダの生涯の年表 — *表*

22. アブー・ウバイダについてよくある質問 — *12 の質問*

23. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ

どの民にも、最も信頼できる人がいます。アッラーの使徒 ﷺ は、このウンマで最も信頼できる人の名を挙げられました。*アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ* رضى الله عنه です。*「アミーン・アル＝ウンマ」*（ウンマの信託者）という呼び名は、ほかの誰にも与えられませんでした。

アブー・ウバイダは最初期の入信者の一人であり、楽園を約束された十人の教友の一人であり、シャームを開いた総司令官でした。それでも彼はとても質素に暮らし、ウマル・ブン・アル＝ハッターブは彼の家の中を見て泣いたほどです。

この電子書籍は*『イスラームの英雄』*シリーズの第4巻です。これまでの巻と同じく、アブー・ウバイダ رضى الله عنه の物語を、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）と歴史の書から集めています。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路が弱い話はそのことを正直に説明します。

アブー・ウバイダの物語は、信託と謙虚さと穏やかな指導の物語です。彼は声を荒らげることなく大軍を率い、団結のために身を引き、自分だけ助かるよりも兵士たちとともに死ぬことを選びました。

アブー・ウバイダとは誰か

彼の正式な名は*アーミル・ブン・アブドゥッラー・ブン・アル＝ジャッラーフ*・アル＝フィフリー・アル＝クラシーです。クンヤ（呼び名）の*アブー・ウバイダ*でよく知られ、祖父アル＝ジャッラーフにちなんで呼ばれました。彼の家系は、フィフル・ブン・マーリク、つまりクライシュ族で、アッラーの使徒 ﷺ の家系とつながります。

ヒジュラの約 40 年前（西暦 583 年ごろ）にマッカで生まれ、アッラーの使徒 ﷺ よりおよそ 11 歳年下でした。伝記の書は、彼を背が高くやせていて、穏やかな顔つきで、ひげの薄い人として描いています。

名前と呼び名

名前・呼び名	説明
アーミル・ブン・アブドゥッラー	本名
アブー・ウバイダ	最もよく知られたクンヤ
イブン・アル＝ジャッラーフ	祖父アル＝ジャッラーフにちなむ
アミーン・アル＝ウンマ	「ウンマの信託者」。アッラーの使徒 ﷺ が与えた呼び名（『サヒーフ・ブハーリー』3744）
アル＝アスラム	「前歯の欠けた人」。ウフドで歯が抜けたため（第 4 章）

教訓

アブー・ウバイダは、財産や家柄で有名になったのではありません。信託、謙虚さ、優しさという資質で知られました。本当の名誉は家系だけではなく、人柄から生まれるのです。

最初期の入信者の一人

アブー・ウバイダは、マッカでの呼びかけのごく初期、アッラーの使徒 ﷺ がアルカムの家に入られる前にイスラームに入信しました。イブン・イスハークによれば、***アブー・バクル・アッ＝スィッディーク*** رضى الله عنه の呼びかけによって、ウスマーン・ブン・マズウーン、アブドゥッラフマーン・ブン・アウフたちとともに入信しました。

スィーラの注：移住と兄弟の契り

いくつかの伝承によれば、アブー・ウバイダは第二次アビシニア移住にも加わり、その後マッカに戻り、ムスリムたちとともにマディーナへ移住しました。

マディーナでアッラーの使徒 ﷺ は、移住者（ムハージルーン）と援助者（アンサール）の間に兄弟の契りを結ばれました。アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がアブー・ウバイダと***アブー・タルハ・アル＝アンサーリー***を兄弟とされたと伝えています（『サヒーフ・ムスリム』2528）。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』最初の入信者の章；イブン・サアド『大列伝』。

アッラーは、移住者と援助者のうち信仰で先んじた者たちをたたえておられます。アブー・ウバイダもその一人です：

悔悟章 9:100

وَٱلسَّٰبِقُونَ ٱلۡأَوَّلُونَ مِنَ ٱلۡمُهَٰجِرِينَ وَٱلۡأَنصَارِ وَٱلَّذِينَ ٱتَّبَعُوهُم بِإِحۡسَٰنٖ رَّضِيَ ٱللَّهُ عَنۡهُمۡ وَرَضُواْ عَنۡهُ وَأَعَدَّ لَهُمۡ جَنَّٰتٖ تَجۡرِي تَحۡتَهَا ٱلۡأَنۡهَٰرُ خَٰلِدِينَ فِيهَآ أَبَدٗاۚ ذَٰلِكَ ٱلۡفَوۡزُ ٱلۡعَظِيمُ ١٠٠

（イスラームの）先達は，第 1 は（マッカからの）遷移者と，（遷移者を迎え助けたマディーナの）援助者と，善い行いをなし，かれらに従った者たちである。アッラーはかれらを愛でられ，かれらもまたかれに満悦する。かれは川が下を永遠に流れる楽園を，かれらのために備え， そこに永遠に住まわせられる。それは至上の幸福の成就である。

訳：三田了一 — quran.com/9:100

教訓

アブー・ウバイダは、イスラームがまだ弱く信者も少なかったときに呼びかけに応えました。イスラームが強くなるのを待ちませんでした。真理が広まる前にそれを受け入れる勇気こそ、本物の信仰のしるしです。

バドル：信仰の最も厳しい試練

バドルの戦い（ヒジュラ暦2年ラマダーン月）で、アブー・ウバイダはムスリムの隊列で戦いました。クライシュの隊列には、まだ偶像崇拝者だった彼自身の父、アブドゥッラー・ブン・アル＝ジャッラーフがいました。

タフスィールの注：アブー・ウバイダとその父

伝えられるところでは、アブー・ウバイダの父はバドルの戦場で何度も息子を探し、アブー・ウバイダは父を避け続けました。父がなおもしつこく迫ったので、アブー・ウバイダはついに父を討ちました。

一部の解釈者は、抗弁する女章第22節がこの出来事について下されたと述べています。ただし、この節の意味は一般的なものです。

伝承の状態： この伝承は有名ですが、伝承経路はムルサル（教友の段階で途切れている）であり、弱いものです。アブー・ウバイダの父はイスラーム以前に亡くなったと述べる歴史家もいます。確かなのは、この節がこの話に頼らずに正しい原則を述べているということです。

参照：

タバラーニー；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；バイハキー；イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（抗弁する女章 58:22）；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

その節は次のとおりです：

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

抗弁する女章 58:22

لَّا تَجِدُ قَوْمًا يُؤْمِنُونَ بِٱللَّهِ وَٱلْيَوْمِ ٱلْءَاخِرِ يُوَآدُّونَ مَنْ حَآدَّ ٱللَّهَ وَرَسُولَهُۥ وَلَوْ كَانُوٓاْ ءَابَآءَهُمْ أَوْ أَبْنَآءَهُمْ أَوْ إِخْوَٰنَهُمْ أَوْ عَشِيرَتَهُمْ ۚ أُوْلَٰٓئِكَ كَتَبَ فِى قُلُوبِهِمُ ٱلْإِيمَٰنَ وَأَيَّدَهُم بِرُوحٍ مِّنْهُ ۖ وَيُدْخِلُهُمْ جَنَّٰتٍ تَجْرِى مِن تَحْتِهَا ٱلْأَنْهَٰرُ خَٰلِدِينَ فِيهَا ۚ رَضِىَ ٱللَّهُ عَنْهُمْ وَرَضُواْ عَنْهُ ۚ أُوْلَٰٓئِكَ حِزْبُ ٱللَّهِ ۚ أَلَآ إِنَّ حِزْبَ ٱللَّهِ هُمُ ٱلْمُفْلِحُونَ ﴿٢٢﴾

あなたは，アッラーと終末の日を信じる民が，アッラーと使徒に反抗するような者と親交を結ぶところを見ないであろう。仮令かれらがかれらの父や，子，兄弟や親族であっても。かれはこれらの者の心の中に信仰を書き留められ，親しく聖霊によって強められる。また川が下を流れる楽園に入らせ，永遠にその中に住ませられるのである。アッラーはかれらを愛でられ，かれらもかれに満悦する。これらは，アッラーの一党（信者）の者である。本当に，アッラーの一党の者こそ，非常な幸福を成就する者である。

訳：三田了一 — quran.com/58:22

教訓

この節は、最も身近な人を通して試されるときでも、アッラーとその使徒への愛が第一でなければならないことを教えています。それでもイスラームは、宗教に敵対して戦わないかぎり、ムスリムでない親にも親切にするよう命じています（ルクマーン章 31:15）。戦場での試練は特別な状況であり、ふだんの生活の手本ではありません。

ウフド：アッラーの使徒ﷺのために失った歯

ウフドの戦い（ヒジュラ暦3年シャウワール月）で、背後からの攻撃によってムスリム軍が混乱したとき、少数の教友がアッラーの使徒 ﷺ の周りで踏みとどまりました。アブー・ウバイダもその一人でした。

スィーラの注：兜の二つの輪

アブー・バクル・アッ＝スィッディーク رضى الله عنه からの伝承によれば、アッラーの使徒 ﷺ の兜の輪が二つ、頬に食い込んでいました。アブー・バクルが急いで抜こうとすると、アブー・ウバイダが言いました。「アッラーにかけて、私にやらせてください。」

アブー・ウバイダは、アッラーの使徒 ﷺ を痛めないよう、一つ目の輪をそっと歯でくわえて引き抜きました。すると前歯が一本抜けました。続いて二つ目の輪を引き抜くと、もう一本の前歯も抜けました。それ以来、彼は*アル＝アスラム*（前歯の欠けた人）と呼ばれました。歴史家たちは、前歯が欠けてアブー・ウバイダほど美しく見えた人はいなかったと述べています。

伝承の状態： この話はイブン・サアド、イブン・ヒッバーン、ハーキムが伝えています。伝承経路の強さについて学者の意見は分かれていますが、スィーラの書では広く受け入れられています。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；イブン・ヒッバーン『サヒーフ』；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

アブー・ウバイダは、アッラーの使徒 ﷺ に仕えるとき、自分の損失を数えませんでした。預言者 ﷺ がこれ以上傷つかないよう、痛みを自ら引き受けたのです。アッラーの使徒 ﷺ への本当の愛は、言葉ではなく犠牲によって示されます。

アミーン・アル＝ウンマ：ウンマの信託者

アッラーの使徒 ﷺ は、教友の何人かに特別な呼び名を与えられました。アブー・ウバイダは、彼に最もふさわしい呼び名を受けました：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3744 番

حَدَّثَنَا عَمْرُو بْنُ عَلِيٍّ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الأَعْلَى، حَدَّثَنَا خَالِدٌ، عَنْ أَبِي قِلاَبَةَ، قَالَ حَدَّثَنِي أَنَسُ بْنُ مَالِكٍ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " إِنَّ لِكُلِّ أُمَّةٍ أَمِينًا، وَإِنَّ أَمِينَنَا أَيَّتُهَا الأُمَّةُ أَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ ".

訳：

アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ が次のように言われたと伝えています。 *「どの民にも信託者がいる。ウンマよ、私たちの信託者はアブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフである。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アムル・ブン・アリー・アル＝ファッラース ← アブドゥルアアラー・ブン・アブドゥルアアラー ← ハーリド・アル＝ハッザー ← アブー・キラーバ ← アナス・ブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフの美徳の章、ハディース第 3744 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:3744

教友たちはみな信頼できる人々でした。しかし学者たちは、アブー・ウバイダにこの呼び名が与えられたのは、信託の資質がほかの資質よりも彼の中で際立っていたからだと説明しています。アッラーはすべての信仰者に、信託を果たすよう命じておられます：

婦人章 4:58

۞إِنَّ ٱللَّهَ يَأۡمُرُكُمۡ أَن تُؤَدُّواْ ٱلۡأَمَٰنَٰتِ إِلَىٰٓ أَهۡلِهَا وَإِذَا حَكَمۡتُم بَيۡنَ ٱلنَّاسِ أَن تَحۡكُمُواْ بِٱلۡعَدۡلِۚ إِنَّ ٱللَّهَ نِعِمَّا يَعِظُكُم بِهِۦٓۗ إِنَّ ٱللَّهَ كَانَ سَمِيعَۢا بَصِيرًا ٥٨

誠にアッラーは，あなたがたが信託されたものを，元の所有者に返還することを命じられる。またあなたがたが人の間を裁く時は，公正に裁くことを命じられる。アッラーがあなたがたに訓戒されることは，何と善美なことよ。誠にアッラーは全てを聴き凡てのことに通暁なされる。

訳：三田了一 — quran.com/4:58

教訓

信託とは、他人の財産を守ることだけではありません。地位、知識、秘密、時間、責任も含まれます。アブー・ウバイダは総司令官の地位と莫大な戦利品を預かりましたが、自分の権利でないものは決して取りませんでした。

ハバト遠征：飢えの中の指導

ヒジュラ暦 8 年、アッラーの使徒ﷺはクライシュの隊商を見張るため、300 人の部隊を海岸に送り、アブー・ウバイダをその指揮官に任じられました。食糧が尽き、彼らはひどい飢えに苦しみました：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4361 番

حَدَّثَنَا عَلِيُّ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، قَالَ الَّذِي حَفِظْنَاهُ مِنْ عَمْرِو بْنِ دِينَارٍ قَالَ سَمِعْتُ جَابِرَ بْنَ عَبْدِ اللَّهِ، يَقُولُ بَعَثَنَا رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم ثَلاَثَمِائَةَ رَاكِبٍ أَمِيرُنَا أَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ نَرْصُدُ عِيرَ قُرَيْشٍ، فَأَقَمْنَا بِالسَّاحِلِ نِصْفَ شَهْرٍ فَأَصَابَنَا جُوعٌ شَدِيدٌ حَتَّى أَكَلْنَا الْخَبَطَ، فَسُمِّيَ ذَلِكَ الْجَيْشُ جَيْشَ الْخَبَطِ، فَأَلْقَى لَنَا الْبَحْرُ دَابَّةً يُقَالُ لَهَا الْعَنْبَرُ، فَأَكَلْنَا مِنْهُ نِصْفَ شَهْرٍ وَادَّهَنَّا مِنْ وَدَكِهِ حَتَّى ثَابَتْ إِلَيْنَا أَجْسَامُنَا، فَأَخَذَ أَبُو عُبَيْدَةَ ضِلَعًا مِنْ أَضْلاَعِهِ فَنَصَبَهُ فَعَمَدَ إِلَى أَطْوَلِ رَجُلٍ مَعَهُ ـ قَالَ سُفْيَانُ مَرَّةً ضِلَعًا مِنْ أَضْلاَعِهِ فَنَصَبَهُ وَأَخَذَ رَجُلاً وَبَعِيرًا ـ فَمَرَّ تَحْتَهُ قَالَ جَابِرٌ وَكَانَ رَجُلٌ مِنَ الْقَوْمِ نَحَرَ ثَلاَثَ جَزَائِرَ، ثُمَّ نَحَرَ ثَلاَثَ جَزَائِرَ، ثُمَّ نَحَرَ ثَلاَثَ جَزَائِرَ، ثُمَّ إِنَّ أَبَا عُبَيْدَةَ نَهَاهُ. وَكَانَ عَمْرٌو يَقُولُ أَخْبَرَنَا أَبُو صَالِحٍ أَنَّ قَيْسَ بْنَ سَعْدٍ قَالَ لأَبِيهِ كُنْتُ فِي الْجَيْشِ فَجَاعُوا. قَالَ انْحَرْ. قَالَ نَحَرْتُ. قَالَ ثُمَّ جَاعُوا قَالَ انْحَرْ. قَالَ نَحَرْتُ. قَالَ ثُمَّ جَاعُوا قَالَ انْحَرْ. قَالَ نَحَرْتُ ثُمَّ جَاعُوا قَالَ انْحَرْ. قَالَ نُهِيتُ.

訳：

ジャービル・ブン・アブドゥッラーは言いました。アッラーの使徒 ﷺ は、私たち三百人の騎乗者を、*アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフを私たちの指揮官として*、クライシュの隊商を見張るために送られました。私たちは海岸に半月とどまり、ひどい飢えに襲われ、木の葉（*ハバト*）まで食べました。それでその軍は*ハバトの軍*と呼ばれました。やがて海が、アンバルと呼ばれる生き物（クジラ）を私たちのために打ち上げました。私たちは半月それを食べ、その脂を体に塗り、ついに体は健康を取り戻しました。アブー・ウバイダはそのあばら骨を一本取って立て、一緒にいた中で最も背

の高い男を選びました —— スフヤーンのある伝承では、男とラクダを一頭選んだ —— すると男はその下を通り抜けました。ジャービルは言いました。人々の中に、ラクダを三頭屠り、さらに三頭屠り、さらに三頭屠った男がいましたが、やがてアブー・ウバイダが彼を止めました。アムルは言いました。アブー・サーリフが私たちに伝えたところでは、カイス・ブン・サアドは父に「私は軍にいて、皆が飢えました」と言いました。父は「屠りなさい」と言いました。カイスは「屠りました」と言いました。.....四度目に彼は「止められました」と言いました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アリー・ブン・アブドゥッラー・アル＝マディーニー ← スフヤーン・ブン・ウヤイナ ← アムル・ブン・ディーナール ← ジャービル・ブン・アブドゥッラー رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、海岸遠征の章、ハディース第 4361 番。

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4361

ムスリムの伝承でジャービルは、それ以前にアブー・ウバイダが一人一日ナツメヤシ一粒を配り、彼らは赤ん坊が乳を吸うようにそれを吸ったと語っています（『サヒーフ・ムスリム』1935）。帰還すると、アッラーの使徒 ﷺ はそれがアッラーが彼らのために出された糧であると言われ、ご自身もそれを口にされました。

教訓

信頼できる指導者は、苦しいときに自分を先にしません。アブー・ウバイダは食べ物を、ナツメヤシ一粒ずつ公平に分けました。また、軍が家に帰れなくなることを恐れて、カイスが乗用のラクダを屠るのを止めました。指導とは、今日の問題を解くことだけでなく、皆の安全を守ることなのです。

ザート・アッ＝サラースィル：団結のために身を引く

ヒジュラ暦 8 年ジュマーダー・アル＝アーヒラ月、アッラーの使徒 ﷺ はアムル・ブン・アル＝アースをシャームの国境にあるザート・アッ＝サラースィルに送られました。敵が多いと分かると、アムルは援軍を求めました。アッラーの使徒 ﷺ は、アブー・バクルとウマルを含む 200 人をアブー・ウバイダの指揮のもとで送られました。

スィーラの注：「たとえあなたが私に従わなくても、私はあなたに従う」

アブー・ウバイダの部隊が着くと、誰が礼拝を導き、誰が指揮を執るかという問題が起こりました。アムルは「あなたがたは私の援軍として来たのだから、指揮官は私だ」と言いました。教友の中には、アブー・ウバイダのほうがふさわしいと考える者もいました。

アブー・ウバイダは言いました。*「アッラーの使徒 ﷺ は私に、互いに争わないよう言い聞かせられた。アッラーにかけて、たとえあなたが私に従わなくても、私はあなたに従う。」* こうして彼は指揮をアムルに譲り、アムルの後ろで礼拝しました。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』ザート・アッ＝サラースィル遠征の章；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

アッラーは教友たちを、敵には強く、互いの間では慈しみ深い人々として描いておられます：

勝利章 48:29

مُّحَمَّدٌ رَّسُولُ ٱللَّهِ ۚ وَٱلَّذِينَ مَعَهُۥٓ أَشِدَّآءُ عَلَى ٱلْكُفَّارِ رُحَمَآءُ بَيْنَهُمْ ۖ تَرَىٰهُمْ رُكَّعًا سُجَّدًا يَبْتَغُونَ فَضْلًا مِّنَ ٱللَّهِ وَرِضْوَٰنًا ۖ سِيمَاهُمْ فِى وُجُوهِهِم مِّنْ أَثَرِ ٱلسُّجُودِ ۚ ذَٰلِكَ مَثَلُهُمْ فِى ٱلتَّوْرَىٰةِ ۚ وَمَثَلُهُمْ فِى ٱلْإِنجِيلِ كَزَرْعٍ أَخْرَجَ شَطْـَٔهُۥ فَـَٔازَرَهُۥ فَٱسْتَغْلَظَ فَٱسْتَوَىٰ عَلَىٰ سُوقِهِۦ يُعْجِبُ ٱلزُّرَّاعَ لِيَغِيظَ بِهِمُ ٱلْكُفَّارَ ۗ وَعَدَ ٱللَّهُ ٱلَّذِينَ ءَامَنُوا۟ وَعَمِلُوا۟ ٱلصَّٰلِحَٰتِ مِنْهُم مَّغْفِرَةً وَأَجْرًا عَظِيمًۢا ﴿٢٩﴾

ムハンマドはアッラーの使徒である。かれと共にいる者は不信心の者に対しては強く，挫けず，お互いの間では優しく親切である。あなたは，かれらがルクウしサジダして，アッラーからの恩恵と御満悦を求めるのを見よう。かれらの印は，額にあるサジダによる跡である。（ムーサーの）律法にも，かれらのような者の譬えがあり，（イーサーの）福音にも，かれらのような譬えがある。それは蒔いた種が芽をふき，丈夫な茎を伸ばして，種を蒔いた者を喜ばせるようなもの。それで不信者たちは，かれらに憤激することであろう。だがアッラーは，かれらの中で信仰して善行に勤しむ者に，容赦と偉大な報奨を約束なされる。

訳：三田了一 — quran.com/48:29

教訓

アブー・ウバイダは先に入信し、より高い地位にありましたが、団結のために身を引きました。ムスリム軍が地位をめぐって分裂することを望まなかったのです。信頼できる人は地位を争わず、より大きな目的を守ります。

ナジュラーン：「本当に信頼できる人」

ヒジュラ暦 9 年か 10 年、ナジュラーンのキリスト教徒の使節団がマディーナに来ました。アッラーの使徒 ﷺ と話し合ったのち、彼らは互いに呪い合うこと（ムバーハラ）を拒み、和平の取り決めを選びました。そして、信頼できる人を一緒に送ってほしいと求めました：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4380 番

حَدَّثَنِي عَبَّاسُ بْنُ الْحُسَيْنِ، حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ آدَمَ، عَنْ إِسْرَائِيلَ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، عَنْ صِلَةَ بْنِ زُفَرَ، عَنْ حُذَيْفَةَ، قَالَ جَاءَ الْعَاقِبُ وَالسَّيِّدُ صَاحِبَا نَجْرَانَ إِلَى رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يُرِيدَانِ أَنْ يُلاَعِنَاهُ، قَالَ فَقَالَ أَحَدُهُمَا لِصَاحِبِهِ لاَ تَفْعَلْ، فَوَاللَّهِ لَئِنْ كَانَ نَبِيًّا فَلاَعَنَّا، لاَ نُفْلِحُ نَحْنُ وَلاَ عَقِبُنَا مِنْ بَعْدِنَا. قَالاَ إِنَّا نُعْطِيكَ مَا سَأَلْتَنَا، وَابْعَثْ مَعَنَا رَجُلاً أَمِينًا، وَلاَ تَبْعَثْ مَعَنَا إِلاَّ أَمِينًا. فَقَالَ " لأَبْعَثَنَّ مَعَكُمْ رَجُلاً أَمِينًا حَقَّ أَمِينٍ ". فَاسْتَشْرَفَ لَهُ أَصْحَابُ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ " قُمْ يَا أَبَا عُبَيْدَةَ بْنَ الْجَرَّاحِ ". فَلَمَّا قَامَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " هَذَا أَمِينُ هَذِهِ الأُمَّةِ ".

訳：

フザイファ رضى الله عنه は言いました。ナジュラーンの二人の指導者、アル＝アーキブとアッ＝サイイドが、互いに呪い合うつもりでアッラーの使徒 ﷺ のもとに来ました。一人がもう一人に言いました。「やめておけ。アッラーにかけて、もし彼が本当に預言者で、私たちが彼と呪い合えば、私たちも私たちの後の子孫も決して栄えないだろう。」それから二人は言いました。「あなたが私たちに求めるものを差し上げます。信頼できる人を私たちと一緒に送ってください。信頼できる人以外は送らないでください。」彼は言われました。*「必ず、信頼できる、本当に信頼できる人をあなたがたと一緒に送ろう。」* アッラーの使徒 ﷺ の教友たちは、それぞれ自分が選ばれることを願いました。すると彼は言われました。*「立ちなさい、アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフよ。」* 彼が立つと、アッラーの使徒 ﷺ は言われました。*「これがこのウンマの信託者である。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アッバース・ブン・アル＝フサイン ← ヤフヤー・ブン・アーダム ← イスラーイール・ブン・ユーヌス ← アブー・イスハーク・アッ＝サビーイー ← スィラ・ブン・ズファル ← フザイファ・ブン・アル＝ヤマーン رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ナジュラーンの人々の話の章、ハディース第 4380 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4380

教訓

アブー・ウバイダの信頼性を認めたのはムスリムだけではありません。ムスリムでない人々との交渉でも彼は信頼されました。信託は、最も力強い呼びかけ（ダアワ）の形です。取引で正直な人は、ほかの人々の目にイスラームの最も美しい顔となるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

楽園を約束された十人の一人

アッラーの使徒 ﷺ はあるとき、十人の教友の名を挙げ、彼らはみな楽園にいると告げられました。その中で最後に名を挙げられたのがアブー・ウバイダでした：

ハディース — 『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』第 3747 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ، قَالَ حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ مُحَمَّدٍ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ حُمَيْدٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ عَوْفٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " أَبُو بَكْرٍ فِي الْجَنَّةِ وَعُمَرُ فِي الْجَنَّةِ وَعُثْمَانُ فِي الْجَنَّةِ وَعَلِيٌّ فِي الْجَنَّةِ وَطَلْحَةُ فِي الْجَنَّةِ وَالزُّبَيْرُ فِي الْجَنَّةِ وَعَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ عَوْفٍ فِي الْجَنَّةِ وَسَعْدٌ فِي الْجَنَّةِ وَسَعِيدٌ فِي الْجَنَّةِ وَأَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ فِي الْجَنَّةِ " . أَخْبَرَنَا أَبُو مُصْعَبٍ، قِرَاءَةً عَنْ عَبْدِ الْعَزِيزِ بْنِ مُحَمَّدٍ، عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ حُمَيْدٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم نَحْوَهُ وَلَمْ يَذْكُرْ فِيهِ عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ عَوْفٍ . قَالَ وَقَدْ رُوِيَ هَذَا الْحَدِيثُ عَنْ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ حُمَيْدٍ عَنْ أَبِيهِ عَنْ سَعِيدِ بْنِ زَيْدٍ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم نَحْوَ هَذَا وَهَذَا أَصَحُّ مِنَ الْحَدِيثِ الأَوَّلِ .

訳：

アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ رضى الله عنه は言いました。アッラーの使徒 ﷺ は言われました。*「アブー・バクルは楽園にいる。ウマルは楽園にいる。ウスマーンは楽園にいる。アリーは楽園にいる。タルハは楽園にいる。アッ＝ズバイルは楽園にいる。アブドゥッラフマーン・ブン・アウフは楽園にいる。サアドは楽園にいる。サイードは楽園にいる。そしてアブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフは楽園にいる。」*

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：クタイバ・ブン・サイード ← アブドゥルアズィーズ・ブン・ムハンマド・アッ＝ダラーワルディー ← アブドゥッラフマーン・ブン・フマイド ← フマイド・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』美徳の書、ハディース第 3747 番。

等級： サヒーフ（真正）— ダールッサラームとアルバーニーが真正と判定。アブー・ダーウード（4649）とイブン・マージャ（133）もサイード・ブン・ザイドから伝えている。

典拠： https://sunnah.com/tirmidhi:3747

教訓

アブー・ウバイダは楽園の吉報を受けながらこの世を生きましたが、その知らせで気がゆるむことはありませんでした。生涯の終わりまで努力し、質素に暮らし、礼拝し続けました。楽園の約束は彼の行いを止めず、感謝を増やしたのです。

サキーファ：カリフの候補

アッラーの使徒 ﷺ の逝去後、アンサールは指導者について話し合うため、サーイダ族のサキーファ（集会所）に集まりました。アブー・バクル、ウマル、アブー・ウバイダが彼らのもとへ行きました。その話し合いでアブー・バクルは「ウマルかアブー・ウバイダに忠誠を誓いなさい」と言いました。しかしウマルは「いいえ、私たちはあなたに忠誠を誓います。あなたは私たちの長であり、私たちの中で最も優れた人です」と言いました（『サヒーフ・ブハーリー』3668）。

アッラーの使徒 ﷺ のもとでのアブー・ウバイダの位置は、アーイシャ رضى الله عنها も語っています：

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2385 番

وَحَدَّثَنِي الْحَسَنُ بْنُ عَلِيٍّ الْحُلْوَانِيُّ، حَدَّثَنَا جَعْفَرُ بْنُ عَوْنٍ، عَنْ أَبِي عُمَيْسٍ، ح وَحَدَّثَنَا عَبْدُ بْنُ حُمَيْدٍ، - وَاللَّفْظُ لَهُ - أَخْبَرَنَا جَعْفَرُ بْنُ عَوْنٍ، أَخْبَرَنَا أَبُو عُمَيْسٍ، عَنِ ابْنِ، أَبِي مُلَيْكَةَ سَمِعْتُ عَائِشَةَ، وَسُئِلَتْ، مَنْ كَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مُسْتَخْلِفًا لَوِ اسْتَخْلَفَهُ قَالَتْ أَبُو بَكْرٍ . فَقِيلَ لَهَا ثُمَّ مَنْ بَعْدَ أَبِي بَكْرٍ قَالَتْ عُمَرُ . ثُمَّ قِيلَ لَهَا مَنْ بَعْدَ عُمَرَ قَالَتْ أَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ . ثُمَّ انْتَهَتْ إِلَى هَذَا .

訳：

イブン・アビー・ムライカは言いました。私は、アーイシャが次のように尋ねられるのを聞きました。「もしアッラーの使徒 ﷺ が後継者（ハリーファ）を指名されたとしたら、誰を指名されたでしょうか。」彼女は「アブー・バクルです」と言いました。「アブー・バクルの次は誰ですか」と尋ねられると、「ウマルです」と言いました。さらに「ウマルの次は誰ですか」と尋ねられると、 ***「アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフです」*** と言い、そこで話をやめました。

伝承経路： イマーム・ムスリムによる伝承：アブド・ブン・フマイド ← ジャアファル・ブン・アウン ← アブー・ウマイス ← イブン・アビー・ムライカ ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』教友の美徳の書、ハディース第 2385 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。最も真正な二つのハディース集（二サヒーフ）の一つである。

典拠： https://sunnah.com/muslim:2385

注：「もしアブー・ウバイダが生きていたら……」

伝えられるところでは、ウマル・ブン・アル＝ハッターブは刺されて後継者を指名するよう求められたとき、こう言いました。「もしアブー・ウバイダが生きていたら、彼を後継者にしただろう。もし主が私に尋ねられたら、『あなたの預言者が「彼はこのウンマの信託者である」と言うのを聞きました』と答えただろう。」

伝承の状態： アフマドが伝えていますが、伝承経路についてはハディース学者の間で議論があります（途切れがある）。その意味は、アブー・ウバイダの地位についての真正なハディースと一致しています。

参照：

『ムスナド・アフマド』（ウマルのムスナド）；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

アブー・ウバイダはカリフの候補に挙げられましたが、自らその地位を求めたことは一度もなく、喜んでアブー・バクルに忠誠を誓いました。指導者に最もふさわしい人は、しばしばそれを最も望まない人なのです。

シャームの総司令官

アブー・バクルの時代、アブー・ウバイダはシャームへ送られた司令官の一人でした。ハーリド・ブン・アル＝ワリードがイラクから到着すると（第3巻参照）、戦場の指揮はハーリドに任され、アブー・ウバイダは少しもためらうことなく彼の指揮下で戦いました。

歴史の注：ウマルからの任命の手紙

ヒジュラ暦13年、アブー・バクルが亡くなり、ウマルがカリフとなりました。彼の最初の決定の一つは、ハーリドに代えてアブー・ウバイダをシャームの総司令官に任じることでした。

歴史家によれば、その手紙は軍が戦っている最中に届きました。アブー・ウバイダは、兵士たちの士気を乱さず、ハーリドが軍の前で恥をかかないよう、戦いが終わるまで手紙を伏せておきました。

これを知ったハーリドはアブー・ウバイダに言いました。「アッラーがあなたに慈悲をかけられますように。なぜ私に言わなかったのですか。」アブー・ウバイダは答えました。「あなたの戦いを台無しにしたくなかったのです。私たちはこの世の権力を求めているのではありません。私たちはみな兄弟なのです。」

伝承の状態： この話の細部は歴史書にさまざまな言い回しで伝えられています。その核心、つまりアブー・ウバイダの任命と、彼とハーリドの良い関係は、歴史家の一致するところです。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・カスィール『始まりと終わり』；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

教訓

二人の偉大な司令官は、争うことなく立場を入れ替えました。アブー・ウバイダはかつてハーリドの下で戦い、のちにハーリドがアブー・ウバイダの下で戦い、二人

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

とも誠実なままでした。これが教友たちの人柄でした。地位が彼らの心を変えることはなかったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ダマスカス、ファフル、ヒムス

アブー・ウバイダの指揮のもと、ムスリム軍はシャームの大都市を次々に開きました。***ダマスカス***はヒジュラ暦 14 年、長い包囲の末に開かれました。続いてムスリムはヨルダン渓谷の***ファフル***（ペラ）で勝利し、***ヒムス***、***ハマー***などの都市を開きました。

歴史の注：心を開いた公正

歴史家によれば、ヤルムークの戦いの前、アブー・ウバイダは兵力を集めるためにヒムスから退かなければなりませんでした。彼はヒムスの人々から集めたジズヤ（人頭税）を返すよう命じ、こう言いました。「私たちはあなたがたを守る代わりにそれを受け取った。今、私たちはあなたがたを守ることができない。」

ヒムスのキリスト教徒とユダヤ教徒の人々は言いました。「あなたがたの統治と公正は、私たちが以前に知っていた圧政よりもずっと好ましい。」そして、ムスリムが戻るまで彼らに代わって町を守ると約束しました。

伝承の状態：バラーズリーとアブー・ユースフが、イスラーム史と公的財政に関する初期の著作で伝えています。

参照：

バラーズリー『諸国征服史』；アブー・ユースフ『地租の書（キターブ・アル＝ハラージュ）』。

教訓

アブー・ウバイダは、剣だけでなく、公正と信託によって町々を開きました。ジズヤは保護の対価でした。保護ができなくなると、その対価は返されました。このような公正は、どんな軍隊よりも強いのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヤルムークとエルサレム

ヒジュラ暦 15 年、アブー・ウバイダの総指揮のもと、ムスリム軍は***ヤルムーク***でビザンツの大軍と向き合いました。アブー・ウバイダはハーリド・ブン・アル＝ワリードの手腕を見込んで戦場の布陣を彼に任せ、アッラーは大勝利を授けられました（第 3 巻参照）。

歴史の注：エルサレムの鍵

ヤルムークの後、ムスリム軍は***エルサレム***（イーリヤー）を包囲しました。町の教会の長である総主教ソフロニオスは、町を平和のうちに明け渡す用意がありましたが、カリフ自身が鍵を受け取りに来ることを条件としました。

アブー・ウバイダはウマルに手紙を書きました。ウマルはシャームに来て、アブー・ウバイダは***ジャービヤ***で彼を出迎えました。ウマルはヒジュラ暦 16 年か 17 年にエルサレムの平和的な明け渡しを受け入れ、住民に安全の保証書を書きました。

伝承の状態： 細部は資料によって異なりますが、出来事の核心は歴史家の一致するところです。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；バラーズリー『諸国征服史』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

賢い指導者は、仕事を最も腕の立つ人に任せる方法を知っています。アブー・ウバイダはハーリドの専門性に脅かされたとは感じず、それをウンマのために生かしました。勝利は、それぞれの人がふさわしい場所に置かれたときに訪れます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

総督の家

シャームの司令官であり総督として、アブー・ウバイダは広く豊かな土地を治めました。それでも彼の暮らしは質素なままでした。

歴史の注：アブー・ウバイダの家で泣くウマル

ウマル・ブン・アル＝ハッターブはシャームに来たとき、アブー・ウバイダの家を見たいと頼みました。中に入ると、ウマルは***彼の剣と盾とラクダの鞍***のほかに何も見ませんでした。

ウマルは言いました。「なぜほかの人たちのように物をそろえなかったのか。」アブー・ウバイダは答えました。「信徒たちの長よ、これだけあれば私を休み場（墓）まで運んでくれます。」

別の伝承では、ウマルは泣きながら言いました。***「この世は私たちみなを変えてしまった。アブー・ウバイダよ、あなたを除いて。」***

伝承の状態：禁欲と伝記の書で伝えられ、歴史家に広く受け入れられています。

参照：

アブー・ダーウード『禁欲の書（アッ＝ズフド）』；イブン・アル＝ムバーラク『禁欲の書』；アブー・ヌアイム『聖者たちの飾り（ヒルヤ・アル＝アウリヤー）』；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

この電子書籍の表紙には、岩の上に剣と盾と鞍、そして鍵が描かれています。質素な品々はアブー・ウバイダの禁欲を、鍵は彼が担った信託を表しています。

教訓

権力も富も、アブー・ウバイダの心を変えませんでした。彼はこの世を心ではなく手の中に持っていたのです。質素に暮らす指導者は、民からより深く信頼されます。自分が豊かになるために治めているのではないと、人々が知っているからです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

サルグの疫病：「アッラーの定めからアッラーの定めへ」

ヒジュラ暦 17 年、ウマル・ブン・アル＝ハッターブはシャームへ向けて出発しました。シャームの境にある*サルグ*で、アブー・ウバイダを含む軍の司令官たちに会い、彼らはシャームで疫病が起きたことを告げました：

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 5729 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، أَخْبَرَنَا مَالِكٌ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، عَنْ عَبْدِ الْحَمِيدِ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ بْنِ زَيْدِ بْنِ الْخَطَّابِ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ الْحَارِثِ بْنِ نَوْفَلٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَبَّاسٍ، أَنَّ عُمَرَ بْنَ الْخَطَّابِ ـ رضى الله عنه ـ خَرَجَ إِلَى الشَّأْمِ حَتَّى إِذَا كَانَ بِسَرْغَ لَقِيَهُ أُمَرَاءُ الأَجْنَادِ أَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ وَأَصْحَابُهُ، فَأَخْبَرُوهُ أَنَّ الْوَبَاءَ قَدْ وَقَعَ بِأَرْضِ الشَّأْمِ. قَالَ ابْنُ عَبَّاسٍ فَقَالَ عُمَرُ ادْعُ لِي الْمُهَاجِرِينَ الأَوَّلِينَ. فَدَعَاهُمْ فَاسْتَشَارَهُمْ وَأَخْبَرَهُمْ أَنَّ الْوَبَاءَ قَدْ وَقَعَ بِالشَّأْمِ فَاخْتَلَفُوا. فَقَالَ بَعْضُهُمْ قَدْ خَرَجْتَ لأَمْرٍ، وَلاَ نَرَى أَنْ تَرْجِعَ عَنْهُ. وَقَالَ بَعْضُهُمْ مَعَكَ بَقِيَّةُ النَّاسِ وَأَصْحَابُ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَلاَ نَرَى أَنْ تُقْدِمَهُمْ عَلَى هَذَا الْوَبَاءِ. فَقَالَ ارْتَفِعُوا عَنِّي. ثُمَّ قَالَ ادْعُوا لِي الأَنْصَارَ. فَدَعَوْتُهُمْ فَاسْتَشَارَهُمْ، فَسَلَكُوا سَبِيلَ الْمُهَاجِرِينَ، وَاخْتَلَفُوا كَاخْتِلاَفِهِمْ، فَقَالَ ارْتَفِعُوا عَنِّي. ثُمَّ قَالَ ادْعُ لِي مَنْ كَانَ هَا هُنَا مِنْ مَشْيَخَةِ قُرَيْشٍ مِنْ مُهَاجِرَةِ الْفَتْحِ. فَدَعَوْتُهُمْ، فَلَمْ يَخْتَلِفْ مِنْهُمْ عَلَيْهِ رَجُلاَنِ، فَقَالُوا نَرَى أَنْ تَرْجِعَ بِالنَّاسِ، وَلاَ تُقْدِمَهُمْ عَلَى هَذَا الْوَبَاءِ، فَنَادَى عُمَرُ فِي النَّاسِ، إِنِّي مُصَبِّحٌ عَلَى ظَهْرٍ، فَأَصْبِحُوا عَلَيْهِ. قَالَ أَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ أَفِرَارًا مِنْ قَدَرِ اللَّهِ فَقَالَ عُمَرُ لَوْ غَيْرُكَ قَالَهَا يَا أَبَا عُبَيْدَةَ، نَعَمْ نَفِرُّ مِنْ قَدَرِ اللَّهِ إِلَى قَدَرِ اللَّهِ، أَرَأَيْتَ لَوْ كَانَ لَكَ إِبِلٌ هَبَطَتْ وَادِيًا لَهُ عُدْوَتَانِ، إِحْدَاهُمَا خَصِبَةٌ، وَالأُخْرَى جَدْبَةٌ، أَلَيْسَ إِنْ رَعَيْتَ الْخَصْبَةَ رَعَيْتَهَا بِقَدَرِ اللَّهِ، وَإِنْ رَعَيْتَ الْجَدْبَةَ رَعَيْتَهَا بِقَدَرِ اللَّهِ قَالَ فَجَاءَ عَبْدُ الرَّحْمَنِ بْنُ عَوْفٍ، وَكَانَ مُتَغَيِّبًا فِي بَعْضِ حَاجَتِهِ فَقَالَ إِنَّ عِنْدِي فِي هَذَا عِلْمًا سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " إِذَا سَمِعْتُمْ بِهِ بِأَرْضٍ فَلاَ تَقْدَمُوا عَلَيْهِ، وَإِذَا وَقَعَ بِأَرْضٍ وَأَنْتُمْ بِهَا فَلاَ تَخْرُجُوا فِرَارًا مِنْهُ ". قَالَ فَحَمِدَ اللَّهَ عُمَرُ ثُمَّ انْصَرَفَ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・アッバースは伝えています。ウマル・ブン・アル＝ハッターブ رضى الله عنه はシャームへ向けて出発しました。サルグに着くと、軍の司令官たち —— アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフとその仲間たち —— が彼を出迎え、シャームの地で疫病が起きたことを告げました。イブン・アッバースは言いました。ウマルは「最初の移住者たちを呼んで来なさい」と言いました。私が彼らを呼ぶと、ウマルは彼らに相談し、シャームで疫病が起きたことを告げました。彼らの意見は分かれました。ある者は「あなたはある目的のために出発されたのですから、引き返すべきではないと思います」と言い、別の者は「あなたとともにいるのは残りの人々とアッラーの使徒 ﷺ の教友たちです。彼らをこの疫病の中に連れて行くべきではないと思います」と言いました。ウマルは「下がってよい」と言いました。それから「アンサールを呼んで来なさい」と言いました。私が彼らを呼ぶと、ウマルは彼らに相談しましたが、彼らも移住者たちと同じ道をたどり、同じように意見が分かれました。ウマルは「下がってよい」と言いました。それから「ここにいる、マッカ征服のときに移住したクライシュの長老たちを呼んで来なさい」と言いました。私が彼らを呼ぶと、彼らの中で意見の分かれた者は二人もいませんでした。彼らは「人々とともに引き返し、彼らをこの疫病の中に連れて行かないのがよいと思います」と言いました。そこでウマルは人々に告げました。「私は朝に（帰途に）出発する。あなたがたも私とともに出発しなさい。」***アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフは言いました。「アッラーの定めから逃げるのですか。」ウマルは言いました。「アブー・ウバイダよ、それを言ったのがあなた以外の者であったらよかったのに。そうだ、私たちはアッラーの定めからアッラーの定めへと逃げるのだ。*** 教えてほしい。もしあなたにラクダがいて、二つの斜面のある谷に下りたとしよう。一方は肥えていて、もう一方は荒れている。肥えた斜面で放牧すれば、それはアッラーの定めによるのではないか。荒れた斜面で放牧しても、それはアッラーの定めによるのではないか。」そこへ、用事で不在だったアブドゥッラフマーン・ブン・アウフが来て言いました。「このことについて私は知っています。私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞きました。***ある土地にそれ（疫病）があると聞いたら、そこへ行***

ってはならない。あなたがたのいる土地でそれが起きたら、それから逃げるためにそこを出てはならない。」そこでウマルはアッラーを讃え、引き返しました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ・アッ＝ティンニースィー ← マーリク・ブン・アナス ← イブン・シハーブ・アッ＝ズフリー ← アブドゥルハミード・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブドゥッラー・ブン・アブドゥッラー・ブン・アル＝ハーリス ← アブドゥッラー・ブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』医学の書、疫病について述べられたことの章、ハディース第 5729 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:5729

このハディースは、イスラームにおける隔離（検疫）の原則の基礎です。疫病の地域に入らず、そこから出ないこと。また、予防の手立てをとることが、定め（カダル）への信仰と矛盾しないことも示しています。

教訓

アブー・ウバイダの問いは、アッラーの定めへの深い信仰から出たものでした。ウマルの答えは、努力と用心もまたアッラーの定めの一部であることを教えています。教友たちは敬意をもって意見を違え、アッラーの使徒 ﷺ のスンナが伝えられると、それに立ち返ったのです。

アムワースの疫病と彼の死

ヒジュラ暦 18 年、エルサレムに近い*アムワース*という村から始まって、シャームに疫病が広がりました。この疫病は*アムワースの疫病*として知られ、多くの教友を含む約 2 万 5 千人の命を奪いました。

歴史の注：「私は彼らを置いては行かない」

伝えられるところでは、アブー・ウバイダの身を案じたウマルは、彼に手紙を書きました。「あなたなしでは片づかない用事がある。この手紙が届いたら、すぐに私のもとへ来なさい。」

アブー・ウバイダはウマルの真意を悟り、返事を書きました。*「信徒たちの長よ、あなたの用事は分かっています。私はムスリムの軍の中にいて、彼らから離れたくありません。どうかそのご命令から私を解いてください。」* ウマルはこの手紙を読んで泣きました。

その後アブー・ウバイダは疫病にかかり、ヒジュラ暦 18 年（西暦 639 年）、58 歳で亡くなりました。彼は*ヨルダン渓谷*（ガウル・バイサーン）に葬られ、その墓は今日、ヨルダンのデイル・アッラー地方にあります。亡くなる前に、彼は*ムアーズ・ブン・ジャバル*を後継者に指名しました。

伝承の状態： 手紙の話はタバリーと歴史家たちが伝えています。アブー・ウバイダがヒジュラ暦 18 年にアムワースの疫病で亡くなったことは、歴史家の一致するところです。

参照：

タバリー『諸使徒と諸王の歴史』（ヒジュラ暦 18 年の出来事）；イブン・カスィール『始まりと終わり』；ザハビー『高貴な人々の伝記』。

アブー・ウバイダは、アッラーの使徒 ﷺ の「それから逃げるためにそこを出てはならない」という言葉に従い、軍とともにとどまることを選びました。アッラーの使徒 ﷺ はまた、疫病はすべてのムスリムにとって殉教であると言われました（『サヒーフ・ブハーリー』2830）。アッラーは、災難に遭ったときに忍耐する人々について語っておられます：

雌牛章 2:156

ٱلَّذِينَ إِذَآ أَصَٰبَتۡهُم مُّصِيبَةٞ قَالُوٓاْ إِنَّا لِلَّهِ وَإِنَّآ إِلَيۡهِ رَٰجِعُونَ ١٥٦

災難に遭うと，「本当にわたしたちは，アッラーのもの。かれの御許にわたしたちは帰ります。」と言う者，

訳：三田了一 — quran.com/2:156

教訓

アブー・ウバイダは、カリフに呼ばれたことを理由に自分だけ助かることもできました。しかし彼はスンナに従い、苦難の中で軍を見捨てないことを選びました。信頼できる指導者は、災いのときに民を見捨てません。アッラーの使徒 ﷺ が約束されたとおり、イン・シャー・アッラー、彼は殉教者として亡くなったのです。

アブー・ウバイダの人柄

アブー・ウバイダの物語は、気高い資質がつり合いよく集まった信仰者の姿を描いています。戦場では強く、仲間には優しい人でした。

資質	生涯の例
信託	アッラーの使徒 ﷺ にアミーン・アル＝ウンマと呼ばれた（『サヒーフ・ブハーリー』3744）
アッラーの使徒 ﷺ への愛	ウフドで預言者 ﷺ の頬から兜の輪を抜き、前歯を失った
公正	ハバト遠征でナツメヤシを一粒ずつ分けた
謙虚さ	ザート・アッ＝サラースィルでアムルに指揮を譲り、ハーリドの下で戦った
他人の名誉を守る	ハーリドが恥をかかないよう任命の手紙を伏せた
禁欲	家には剣と盾と鞍しかなかった
民への誠実	疫病の間も軍を離れることを拒んだ

教訓

アブー・ウバイダは、偉大な指導には大きな声も厳しい態度も必要ないことを示しました。信託、謙虚さ、公正こそが指導者の本当の強さです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・ウバイダの物語の出典

この表は、それぞれの話の出典と等級をまとめたものです。読者が真正なものと、ただ有名なだけのものを見分けられるようにしています。

話	出典	等級
アブー・タルハとの兄弟の契り	『サヒーフ・ムスリム』2528	真正
「アミーン・アル＝ウンマ」	『サヒーフ・ブハーリー』3744	真正
ハバト遠征	『サヒーフ・ブハーリー』4361；『サヒーフ・ムスリム』1935	真正
ナジュラーン：「本当に信頼できる」	『サヒーフ・ブハーリー』4380	真正
楽園を約束された十人	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747	真正
サキーファでのアブー・バクルの推挙	『サヒーフ・ブハーリー』3668	真正
アーイシャによる三番目の候補	『サヒーフ・ムスリム』2385	真正
サルグの疫病	『サヒーフ・ブハーリー』5729	真正
疫病は殉教	『サヒーフ・ブハーリー』2830	真正
バドルで父を討った話	ハーキム；バイハキー	ムルサル、弱い
ウフドで歯を失った話	イブン・サアド；イブン・ヒッバーン	議論あり
ザート・アッ＝サラースィルで身を引いた話	イブン・ヒシャーム	スィーラ
「もしアブー・ウバイダが生きていたら……」	『ムスナド・アフマド』	議論あり

話	出典	等級
任命の手紙を伏せた話	タバリー；イブン・カスィール	歴史
ヒムスでのジズヤの返還	バラーズリー；アブー・ユースフ	歴史
家：剣、盾、鞍	アブー・ダーウード『禁欲の書』；アブー・ヌアイム	禁欲
疫病の間のウマルの手紙	タバリー	歴史

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・ウバイダの物語の人物

人物	役割
アブー・バクル・アッ＝スィッディーク	彼をイスラームに招き、サキーファで推挙した
アブー・タルハ・アル＝アンサーリー	移住者と援助者の兄弟の契りでの兄弟
ジャービル・ブン・アブドゥッラー	ハバト遠征の話の伝承者
カイス・ブン・サアド	飢えた軍のためにラクダを屠った
アムル・ブン・アル＝アース	ザート・アッ＝サラースィルの司令官。アブー・ウバイダが指揮を譲った
フザイファ・ブン・アル＝ヤマーン	ナジュラーン使節団の話の伝承者
アーイシャ	アブー・ウバイダをカリフの三番目の候補として挙げた
ハーリド・ブン・アル＝ワリード	戦場の司令官。アブー・ウバイダとともに戦った（第 3 巻）
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	彼をシャームの総司令官に任じた親しい友
ソフロニオス	町を平和のうちに明け渡したエルサレムの総主教
ムアーズ・ブン・ジャバル	彼の死後のシャームでの後継者

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・ウバイダの物語の場所

場所	出来事
マッカ	生まれた地。最初期に入信した
バドル	バドルの戦い（ヒジュラ暦 2 年）
ウフド	預言者 ﷺ の頬から兜の輪を抜いた（ヒジュラ暦 3 年）
紅海の海岸	ハバト遠征とクジラ（ヒジュラ暦 8 年）
ザート・アッ＝サラースィル	アムル・ブン・アル＝アースに指揮を譲った（ヒジュラ暦 8 年）
ナジュラーン	「信頼できる人」として送られた（ヒジュラ暦 9〜10 年）
サーイダ族のサキーファ	カリフに推挙された（ヒジュラ暦 11 年）
ダマスカス	ヒジュラ暦 14 年に開かれた
ヒムス	ジズヤが住民に返された
ヤルムーク	ビザンツに対する大勝利（ヒジュラ暦 15 年）
ジャービヤとエルサレム	ウマルを出迎え、エルサレムが明け渡された（ヒジュラ暦 16〜17 年）
サルグ	ウマルとの疫病についての話し合い（ヒジュラ暦 17 年）
アムワースとヨルダン渓谷	疫病。彼の死と埋葬（ヒジュラ暦 18 年）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・ウバイダの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前約 40 年	マッカのハーリス・ブン・フィフル族に生まれる
預言者の使命の初め	アブー・バクルの呼びかけで入信
ヒジュラ暦 1 年	マディーナへ移住。アブー・タルハと兄弟の契り
ヒジュラ暦 2 年	バドルの戦い
ヒジュラ暦 3 年	ウフドの戦い。前歯を失う
ヒジュラ暦 8 年	ハバト遠征；ザート・アッ＝サラースィル
ヒジュラ暦 9〜10 年	「信頼できる人」としてナジュラーンへ送られる
ヒジュラ暦 11 年	サキーファ。カリフに推挙される
ヒジュラ暦 12〜13 年	司令官の一人としてシャームへ送られる
ヒジュラ暦 13 年	ウマルによりシャームの総司令官に任じられる
ヒジュラ暦 14 年	ダマスカスとファフルが開かれる
ヒジュラ暦 15 年	ヤルムークの勝利
ヒジュラ暦 16〜17 年	エルサレムがウマルに明け渡される
ヒジュラ暦 17 年	サルグで疫病について話し合う
ヒジュラ暦 18 年	アムワースの疫病で 58 歳で亡くなる

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブー・ウバイダについてよくある質問

この章では、アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ رضي الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にしています。詳しくは前の章をご覧ください。

1. アブー・ウバイダの本名は何ですか。

アーミル・ブン・アブドゥッラー・ブン・アル＝ジャッラーフ・アル＝フィフリー・アル＝クラシーです。クンヤでよく知られていました。

2. なぜアミーン・アル＝ウンマと呼ばれたのですか。

アッラーの使徒 ﷺ が「どの民にも信託者がいる。このウンマの信託者はアブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフである」と言われたからです（『サヒーフ・ブハーリー』3744）。

3. アブー・ウバイダがバドルで父を討ったというのは本当ですか。

この話は有名ですが、伝承経路はムルサルで弱いものです。父はイスラーム以前に亡くなったと述べる歴史家もいます。

4. なぜアル＝アスラムと呼ばれたのですか。

スィーラの伝承によれば、ウフドでアッラーの使徒 ﷺ の頬から兜の輪を抜いたとき、二本の前歯が抜けたからです。

5. ハバト遠征とは何ですか。

ヒジュラ暦 8 年、アブー・ウバイダが率いた 300 人の部隊です。飢えのため木の葉を食べるほどでしたが、やがてアッラーがクジラを糧として与えられました（『サヒーフ・ブハーリー』4361）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

6. アブー・ウバイダは楽園を約束された十人の一人ですか。

はい。楽園を約束された十人のハディースに名前が挙がっています（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747）。

7. アブー・ウバイダはカリフに推挙されたことがありますか。

はい。アブー・バクルはサキーファでウマルかアブー・ウバイダを推しましたが、二人ともアブー・バクルに忠誠を誓いました（『サヒーフ・ブハーリー』3668）。

8. アブー・ウバイダとハーリド・ブン・アル＝ワリードの関係はどうでしたか。

とても良いものでした。二人は争うことなく交代で指揮を執り、アブー・ウバイダはヤルムークで戦場の布陣をハーリドに任せました。

9. なぜアブー・ウバイダは疫病のときシャームを離れなかったのですか。

軍を離れたくなかったからです。また、アッラーの使徒 ﷺ は疫病から逃げるためにその地を出ることを禁じられました（『サヒーフ・ブハーリー』5729）。

10. アブー・ウバイダはいつ、どこで亡くなりましたか。

ヒジュラ暦 18 年、アムワースの疫病で亡くなり、ヨルダン渓谷に葬られました。

11. シャームでアブー・ウバイダの後を継いだのは誰ですか。

ムアーズ・ブン・ジャバルです。彼もまもなく同じ疫病で亡くなりました。

12. アブー・ウバイダの物語の最大の教訓は何ですか。

信託と謙虚さこそが指導者の本当の強さであり、地位や富は誠実な人の心を変えないということです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ رضى الله عنه の物語は、イスラームの最初期に呼びかけに応えたマッカの一人の男から始まり、疫病のさなかに軍の中で亡くなった総督で終わります。その間には、信託に満ちた生涯があります。

教訓	アブー・ウバイダの物語から
信託は名誉	アッラーの使徒 ﷺ からのアミーン・アル＝ウンマという呼び名
愛から生まれる犠牲	ウフドで失った歯
公正な指導	飢えの中で一人にナツメヤシ一粒
地位より団結	アムルに指揮を譲り、ハーリドと協力した
すべての人への公正	ヒムスの人々へのジズヤの返還
禁欲	剣と盾と鞍しかない総督の家
最後まで誠実	疫病の間も軍を見捨てなかった

私たちの生活の中のアブー・ウバイダ

私たちが軍を率いたり州を治めたりすることはないかもしれません。しかし誰もが信託を担っています。家族、仕事、知識、時間、そして財産です。信託を正直に果たすとき、団結のために身を引くとき、ぜいたくができるのに質素に暮らすとき、私たちはアブー・ウバイダの足跡をたどっているのです。

彼の物語は、感染症の流行のときの作法も思い出させてくれます。用心すること、スンナに従うこと、そして私たちを必要とする人を見捨てないことです。これらの教訓は、私たちの時代にもとても身近です。

イン・シャー・アッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、カーディスィーヤの司令官サアド・ブン・アビー・ワッカースへと続きます。アッラーがウンマの信託

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

者アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフを嘉され、私たちをアッラーの使徒ﷺとその教友たちとともに楽園に集めてくださいますように。

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。https://quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（雌牛章 2:155–156；婦人章 4:58；悔悟章 9:100；勝利章 48:29；抗弁する女章 58:22）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』2830、3668、3744、3745、4361、4380、5729。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』1935、2385、2419、2528。https://sunnah.com/muslim

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747。https://sunnah.com/tirmidhi

『ムスナド・アフマド』；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；バイハキー『大スナン（アッ＝スナン・アル＝クブラー）』。

スィーラ、歴史、伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）。

イブン・サアド『大列伝（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』（アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフの伝記）。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史（ターリーフ・アッ＝ルスル・ワ・アル＝ムルーク）』。

バラーズリー『諸国征服史（フトゥーフ・アル＝ブルダーン）』。

アブー・ユースフ『地租の書（キターブ・アル＝ハラージュ）』。

アブー・ヌアイム・アル＝アスバハーニー『聖者たちの飾り（ヒルヤ・アル＝アウリヤー）』。

イブン・カスィール『始まりと終わり（アル＝ビダーヤ・ワ・アン＝ニハーヤ）』。

ザハビー『高貴な人々の伝記（スィヤル・アアラーム・アン＝ヌバラー）』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』；『ファトフ・アル＝バーリー』。

Wikipedia「Abu Ubayda ibn al-Jarrah」。https://en.wikipedia.org/wiki/Abu_Ubayda_ibn_al-Jarrah

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ、第 2 巻：アリー・ブン・アビー・ターリブ、第 3 巻：ハーリド・ブン・アル＝ワリード。
https://quranscience.my/#pahlawan

『預言者伝（スィーラ）』第 9 巻（バドルの戦い）と第 10 巻（ウフドの戦い）。
https://quranscience.my/#sirah

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

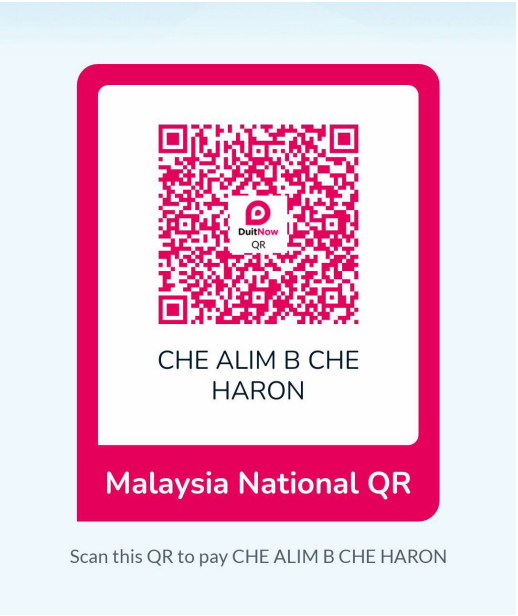
ル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |